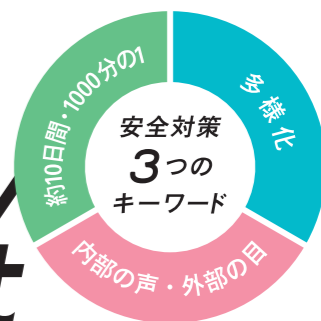


# 柏崎刈羽原子力発電所の今

# Emily Timely Report

エミリー タイムリーレポート



## Vol.6 事故や失敗から学んだ教訓を活かす

私、中田エミリーが柏崎刈羽原子力発電所の現場に訪れ、その安全対策などについて稲垣武之所長にお話を伺うシリーズ第6回は、「事故や失敗から学んだ教訓を活かす」をテーマにお送りします。

さまざまな訓練を日々積み重ねているのですね



中田エミリー  
フリーアナウンサー（新潟県出身）

エミリー 今回の柏崎刈羽原子力発電所の安全性を高めるために、事故や失敗からの学びをどのように活かしているのか、お話を伺いたいと思います。

稲垣 よろしくお願ひします。

エミリー 稲垣所長は、福島第一原子力発電所の事故の際、復旧班長として現場で指揮されていたんですね。

稲垣 はい。今もなお大変多くの皆さまにご迷惑とご心配をおかけしております。

エミリー 当時の状況はどうだったのでしょうか。

稲垣 福島第一原子力発電所の事故では、津波で電源が失われるような事故に対する備えが不十分だったことから、部下を非常に危険な状況に陥らせてしまいました。この事故の反省と教訓を踏まえ、二度と同じような事態を起こさないという決意のもと、安全性を高めるための設備対策に加え、さまざまな訓練を実施しています。

現状に満足することなく、さらなる高みを目指して訓練を続けていきます

うな訓練をされているのでしょうか。

稲垣 地震や津波などの自然災害や福島第一原子力発電所の事故よりも過酷な事故を想定して、あらかじめシナリオを知らせずに行う「総合訓練」を発電所全体で実施しています。この訓練では、対策本部を設置して原子炉の状態の迅速な把握などを行い、復旧



総合訓練

んの対応力が磨かれそうですね。

稲垣 はい。事故は、いつどのような形で起こるかわかりませんので、緊張感を持って臨機応変に対応できる力を養うことが重要です。

エミリー 他にはどのような訓練を行っているのでしょうか。

稲垣 運転員は、発電所の運転操作を行う中央制御室と同じ運転操作が可能な「運転シミュレータ」を使って訓練を行っています。今、私たちがいるこの場所が、運転員の訓練室です。ここでの訓練や重大事故を模擬した現場との組合せ訓練を、運転員一人あたり年間35回実施することで技術力の向上を図っています。



運転シミュレータ訓練

エミリー 運転員以外の方の訓練はどうなのですか。

稲垣 運転員以外の社員も緊急時に発電所の安全対策設備を使いこなせるよう、さまざまな訓練を毎日のように行っています。

エミリー 原子力発電所を安全に管理・運営できるように、社員一人ひとりがさまざまな訓練を日々積み重ねているのですね。

稲垣 はい。過酷事故に対する訓練だけでなく、日々の現場作業における人身災害などの失敗から学ぶために、体験型の教育訓練施設も設置しています。災害がどうして起こったのか、どうすれば防げたのかを身をもって体感しながら学び、社員や協力企業の皆さんの安全意識の向上、危険予知能力の向上を図っています。



ガレキ撤去訓練



注水接続訓練

稲垣 柏崎刈羽原子力発電所では、現状に満足することなく、さらなる高みを目指して訓練を続けていきます。

エミリー 細部まで訓練が徹底されていて、安心感がありますね。



稲垣武之  
東京電力ホールディングス  
常務執行役員 柏崎刈羽原子力発電所長



体験型訓練施設



柏崎刈羽原子力発電所では引き続き安全性向上に努めてまいります。



東京電力ホールディングス株式会社 新潟県新潟市中央区新光町11番地7 025-283-7461 9:00-17:00 (土日・祝日・年末年始除く)

これまで行ってきた取り組みについてはYouTubeでもご説明しております。

